

楠目小学校環境学習（間伐体験）を行いました！

香美市立楠目小学校4年生が令和5年11月29日(水)に環境学習会を行いました。

講師は香美森林組合の田辺さん。午前中に林業についての座学を、午後に関伐体験を行いました。

座学では、林業とはどのようなことをしているかを知るために動画・資料を用いながら講師の方が解説してくださいました。間伐の必要性や高知県の森林率のお話に子どもたちは耳を傾けていました。中でもチェーンソー実演の際は、想像以上の音が教室内に響き渡ったことや1秒間に刃が20回転することを知り、とても驚いていました。

午後からの間伐体験ではまず始めに、田辺さんをはじめとした森林組合の方が、チェーンソーを用いて木を切り倒す実演を行いました。どのような木を間伐の対象として選ばれているのか、切り倒す際に倒したい方向へ事前に切り込み（受け口）を入れておくこと、間伐したことでのどのような恩恵がもたらされるのか等の説明を熱心に聞いていました。説明後は、各班毎に森林組合職員の方指導のもと、のこぎりを用いて間伐体験を行いました。のこぎりで木を切ることで「手が痛くなった」や「時間がかかる」など伐採の大変さ学びました。それでも木を切り倒した瞬間は大いに盛り上がり、喜びを分かち合っていました。

授業終了後は、実際に間伐した木をお土産としてプレゼントされた子どもたちからは、楽しかったという声が多数あり、思い出に残る授業となったようでした。

